

育成委員会だより

令和8年7月12日発行

千葉市立真砂中学校区

青少年育成委員会 広報部

◇印刷・製版：高等特別支援学校事務サービス班

真砂中  生徒数 546	真砂東小  児童数 575	真砂西小  児童数 427	高等特別支援学校  生徒数 94	検見川高校  生徒数 960
---	--	--	--	---



6月6日(土)に定期総会を開催し、令和8年度の活動がスタートしました。

育成委員会では今年度も学校、家庭、地域団体とともに子どもたちの安全や居場所・活躍の場づくりに貢献できるよう進めて参りたいと思います。地域とのつながりの希薄化や家庭教育を支える地域環境が大きく変化していますが、育成の活動が多世代でのコミュニティの場になれば幸いです。



育成委員会の組織体制も時代と共に考え方の変化に譲歩せざるを得ないのではと感じますが、幸いにも、保護者会や自治会等の所属団体から離れても「地域協力者」として長く育成委員活動を続けてくださる方々が大勢います。「楽しくなければボランティアじゃない」「こどもの笑顔がご褒美」です。今年度もよろしくお願いいたします。

(会長 小山 こずえ)



育成委員会今年度の主な活動予定



千葉市では地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域における青少年問題機関・団体相互の連絡・協調をとりながら地域ぐるみで青少年の健全育成を進めていくために市内53中学校区に青少年育成委員会を設置しています。

健全育成部……下校時見守り(月1回)

絵画展 「みんなのまち真砂 2026」

レクリエーション部……レク大会 12月12日(土) 9:00~12:00 会場：真砂中学校

クイズやゲームを行います。参加募集は10月頃の予定です。

たくさんの参加をお待ちしています！

環境対策部……地域点検パトロール(6/23.12/9.3/1)

真砂祭パトロール(8/15.16)

広報部……育成委員会だより発行(年2回)

その他……美浜区ブロック研修会、美浜区民フェスティバル協力等

新しく育成に入られた校長先生、教頭先生方



「地域の皆様とともに」

千葉県立真砂西小学校 校長 細田 昌伸

4月1日付で校長に着任しました細田 昌伸（ほそだ まさのぶ）と申します。昨年度までは浦安市で勤務しており、3年ぶりに千葉市に戻ってまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

本校の子どもたちは、挨拶がよくでき、学習や係活動、掃除など、様々な場面で友達と協力しながら生活しています。着任してまだ短い期間ですが、人との関わりを楽しめている子どもが多いという印象です。家庭での教育はもちろん、育成委員会をはじめとした地域の皆さまのこれまでの活動が、子どもたちを人と関わるができるように育てているものと実感しています。真砂地区の子どもたちの更なる成長のため、皆さまと共に力を合わせ、精一杯取り組んでまいります。



「ご挨拶」

千葉県立検見川高等学校 副校長 田村 信夫

このたび、千葉県立検見川高等学校副校長に着任しました田村 信夫と申します。

真砂中学校区青少年育成委員会の活動に参加させていただくことになりました。地域連携ということで、この真砂地区の教育活動の活性化に、検見川高校として少しでもお役に立てればと考えております。

主な取組みとして、本校吹奏楽部によるシーサイド夏祭り参加、千葉市立高等特別支援学校文化祭参加、本校2、3年生希望者によるひばり幼稚園訪問、本校野球部による青少年育成委員会主催レク大会参加など、多岐にわたり交流させていただいております。

これからも地域連携の輪を拡げるべく、努力して参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



「地域と共に」

千葉市立真砂中学校 教頭 正路 要

このたび、真砂中学校の教頭として着任いたしました。昨年度は真砂中学校かがやき分校に勤務しており、真砂の街に沈む夕陽や夜空に浮かぶ月を眺めながら、あらためて素敵な地域だと感じておりました。今年度は、朝日が差し込む時間から、真砂地区の皆さまとともに子どもたちの成長を見守り、支えていけることを嬉しく思っています。子どもたちが安心してのびのびと勉強や運動、遊びに取り組めるよう、地域と学校がしっかりとつながり合う環境づくりに努めてまいります。まだ不慣れな点も多いかと思いますが、温かくお見守りいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



「真砂地区の皆様とともに」

千葉市立真砂東小学校 教頭 安立 陽一

このたび、稲毛区の千草台東小学校より着任いたしました安立 陽一と申します。日頃より真砂地区の子どもたちの安全な登下校の見守りや、豊かな成長を支える様々な活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

計画的に整備された美しい街並みと、新旧の世代が調和して暮らすこの真砂の地で、学校と地域が手を取り合い、子どもたちが笑顔で安心して過ごせる環境を作ることが何よりも大切だと考えております。皆さまが築いてこられた地域と学校の温かい絆をさらに深められるよう、微力ながら全力を尽くす所存です。

学校の近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。これからどうぞよろしくお願いいたします。



「地域の協力をいただきながら」

千葉市立高等特別支援学校 教頭 高桑 幸代

4月に千葉市立特別支援学校（養護学校）より異動してまいりました。朝、正門に立って生徒たちを迎えていますと、登校で正門前を通る地域の子どもたちが皆、軽やかに挨拶をしてくれ、嬉しさと共に、真砂地区の温かい地域性が伝わってきます。本校は、高等部のみの学校ですが、マリнкаフェの営業や花の苗や野菜の販売、学校に訪問しての窓掃除等、地域の皆様や近隣の学校と関わることも多くあります。そこでいただく、たくさんの嬉しいお言葉や励ましのエールが本校の生徒たちの原動力にもなっております。育成委員会の皆様を中心として、地域、家庭、学校、それぞれの関わり合いを大切にしながら、真砂地区の一員として、子どもたちの健やかな成長のために努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

真砂中学校

『勇士団結～熱き人々と闘志を燃やせ～』

5月14日（木）、今年は初めての平日開催の体育祭でした。朝から「お弁当はあるのか、ないのか？」とドキドキしていましたが、今年は給食ありでお弁当はなし。一安心のスタートとなりました。



当日はお天気にも恵まれ、時折差し込む強い日差しの中、生徒たちは各競技に全力で取り組んでいました。徒競走やリレーでは最後まで懸命に走る姿が見られ、応援席からも大きな声援が送られていました。応援合戦では、中学生らしい迫力と力強さが感じられ、各団の熱意が伝わってきました。



また、「竹取物語」や「台風の子」、「綱引き」などの団体競技では、仲間と声を掛け合いながら協力する姿が印象的でした。競技の持つコミカルな場面に、応援する側からも自然と笑みがこぼれる、楽しい体育祭となりました。

真砂東小学校

『千葉開府 900 年赤白ともに走り出せ。歴史に刻む勝負をしよう！』

5月23日（土）のスポーツフェスタ当日は時折冷たい風が吹くやや肌寒い一日となりました。晴れ間ものぞく空模様で強い日差しが照りつけるということもなく、子どもたちは最後まで元気いっぱいに競技や演技に取り組んでいました。応援する保護者にとっても過ごしやすく、校庭にはたくさんの笑顔があふれていました。徒競走では、ゴールを目指して全力で走る姿に大きな成長を感じました。低学年のかわいらしいダンスには自然と笑顔になり、中学年では仲間と息を合わせて力強く表現する姿に成長を感じました。高学年のリレーは迫力があり、白組が力強い走り逃げ、差が開いても最後まで全力で追う赤組の姿も印象的でした。



真砂西小学校

『努力と協力の結晶！心を1つに限界突破！熱い汗を流せ！The 西っ子スターズ』

5月30日（土）、真砂西小学校の運動会が青空のもと開催されました。

運動会を主導する5・6年生ですが、5年生は直前に移動教室、

6年生は6月に修学旅行を控える多忙な時期にもかかわらず、限られた準備期間の中で全校をしっかりとリードしました。今年も、新一年生も踊れるお馴染みのエビカニ体操から始まり、全学年が心を一つに、精一杯力を発揮し、仲間と力を合わせる姿が随所に光りました。

地域の皆さまの温かいご声援、ありがとうございました。



夏季休業は 7/20(月)～8/31(月)です。子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。



【検見川高校】

「検見川高校より」

無事、中間考査も終わり、生徒たちは文化祭に向けて準備を進め、7月11日（土）に「潮風祭文化の部」一般公開を行いました。地域の皆さまのご来場ありがとうございました。



（新制服）

本校は一昨年度、創立50周年を迎えました。と同時に、50年間変わらず検見川高校とともに歩んできた制服を、今年度入学生より一新いたしました。

検見高ブルーと呼ばれる、「青」を基調としたブレザーやチェックのスカートで構成されています。まさに次に向けて新たな一歩を踏み出しました。

「躍進常に」の校歌どおり、進化し続ける検見川高校です。



（文化祭の様子）

【高等特別支援学校】

「スポーツフェスティバル」

1年生歓迎を目的としたスポーツフェスティバルが行われました。赤・黄・青・白の4チームの縦割りグループに分かれて、ボッチャや玉入れ、長縄、フリースロー、ドッチビーとどれも仲間と協力して声をかけ合い行う種目で親睦を深めました。はじめは、遠慮しがちだった姿も、種目を重ねるごとに応援の声も大きく、得点が入ると学年を超えてハイタッチで喜び合う姿も見られるようになりました。体育館から、熱気があふれていました。もう一つの目玉！3年生によるダンスとボディーパーカッションのパフォーマンス。一人一人の真剣に表現する姿に1・2年生も感動と憧れを抱いたに違いありません。そんな、心の距離がギュッと近づいた、最高の2026スポーツフェスティバルとなりました。



当育成委員会では点検パトロール等で改善が必要な事案について、ちばレポへ投稿し解決を図っています。

（直接担当機関へ連絡することもあります）みなさんも、ちばレポへ登録して気になる学区の事案を投稿してみませんか。

～ちばレポについて～

千葉市内で起きている様々な課題（道路の傷み、公園遊具の破損等）を、ICT（情報通信技術）を使って市民がレポートすることで、市民と市役所（行政）、市民と市民の間で、それらの課題を共有し、合理的、効率的に解決する仕組みです。アプリのダウンロードはこちらから。

【iOS アプリ】



【Android アプリ】



家族の似顔絵展

今年も5/7～6/22の期間、イオンスタイル検見川浜4階にて「家族の似顔絵展」が開催され、真砂東小学校、真砂西小学校から応募のあった、たくさんの素敵な作品が展示されました。



広報紙は地域運営委員会ホームページからもご覧になれます。



§ 編集後記 §

当育成委員会では様々な活動を通して、地域の子もたちの健全育成に取り組んでいます。本紙面でその一端でもみなさまにお伝えできれば幸いです。

今夏も酷暑が懸念されていますので、みなさまどうぞご自愛くださいませ。

（育成広報部）